

2016年秋季講演会「若手セミナー」実施報告



日本地下水学会「若手会」

大野真知子^{\$1}，天野弘基^{\$2}，北村涼馬^{\$2}，杉山歩^{*1}

若手支援・男女共同参画委員会（YEPS 委員会）

杉山歩^{*1}，柏谷公希^{*2}，伊藤浩子^{*3}，野原慎太郎^{*4}，吉岡真弓^{*5}，安元純^{*6}，中屋眞司^{*7}

平成 28 年 10 月 20～22 日（木～土）に長崎新聞文化ホールにて開催された秋季講演会に合わせ、第 1 回若手セミナー「地下水分野に携わったばかりの若手のための、地下水入門編のセミナー」（無料）を初日の AM10:00～12:00 に実施した。このセミナーは、若手が地下水に関する初歩的な教を請える場を提供することを目的として本年度発足した若手会を中心に企画・実施したものである。セミナーの参加者は 38 名であった。

今回は講師として、信州大学の藤縄名誉教授をお招きし、地下水分野の入門編としての講義をしていただいた。

講義内容は、以下に示すとおりである。

- 1) なぜ地下水学と係わるか？モチベーションを高める
- 2) インターフェイスを欠く教育環境の中で、いかに学ぶか？
- 3) 地下水学の手段；数学，物理学，化学，生物
- 4) 英語を媒体とする主要情報
- 5) 地下水学への 3 つのアプローチ；理論，実験，フィールド
- 6) 温故知新；時代とともに変遷する研究内容とスタイル
- 7) 研究テーマと社会問題とのマッチングを図る

本講演は、モチベーションを上げるような実体験に基づく内容や、行政や政策に関係した内容、地下水学を学ぶ上で役に立った参考書等の紹介もあり、地下水学に足を踏み入れた若手にとっては今後勉強・研究を進める上で非常に有用な内容であったと思われる。

セミナー後には、お昼の時間を用いて「若手交流会」を実施し、大学、研究機関及び、企業の若手に加え先生方との交流の場を作った。



写真 1 若手セミナーの様子

^{\$1} 日本原燃(株)， ^{\$2} 長崎大学

^{*1}(株)アサノ大成基礎エンジニアリング， ^{*2} 京都大学， ^{*3} 地域地盤環境研究所，

^{*4} 電力中央研究所， ^{*5} 産業技術総合研究所， ^{*6} 琉球大学， ^{*7} 信州大学

セミナーの参加者は学生，社会人がほぼ半々であり，7割以上が地下水分野に携わって3年未満の若手であった。なお，今回の参加者のうち4割弱が将来地下水分野における研究職を希望しているとのことである。

学生，社会人の垣根を払い，地下水学に携わって同程度の経験を持つ参加者が集まることにより，今後幅の広い交流が可能な場として期待できると考える。また，講義の内容は好評で，参加者全員から今後も参加したいとの返答を得た。セミナー後に実施したアンケート結果は，図1に示すとおりである。

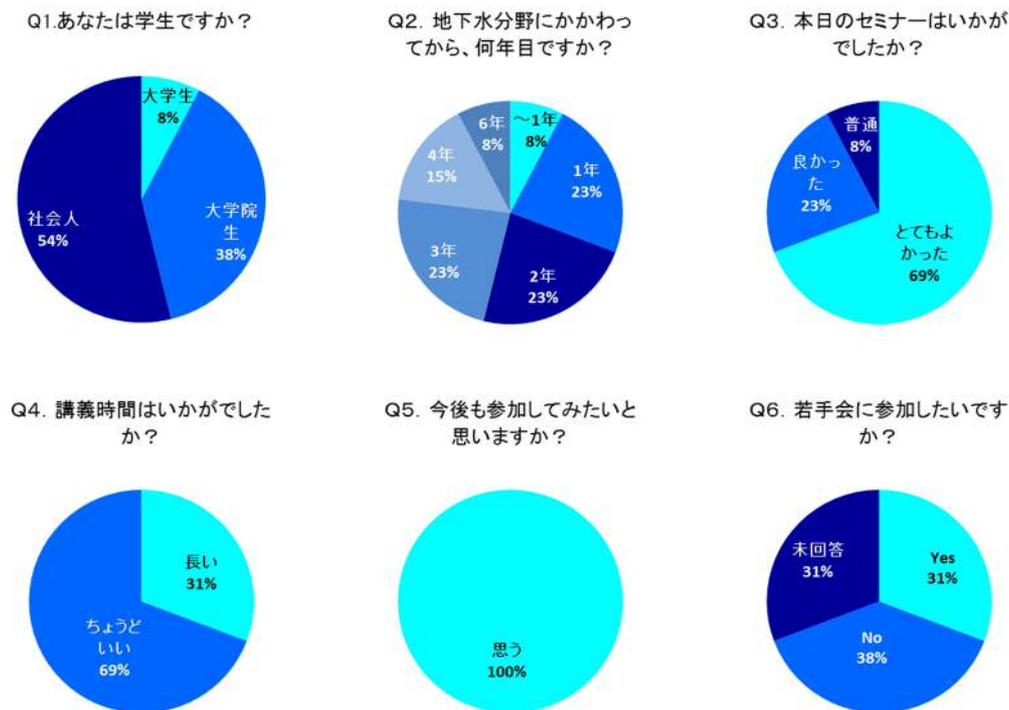


図1 若手セミナーにおけるアンケート結果（有効回答 13名）

交流会では，今後の若手セミナーに対して，地下水分野におけるホットな話題の提供，若手同士の自己紹介を兼ねた簡単な研究紹介等を望む声があり，次回大会 2017 年春季講演会では今回頂いた意見を元に活動を行って行きたい。また，ベテラン研究者等が若手に望むこととして，国際会議への若手の参加，つながりを作ることが必要というご意見があり，若手会でも今後，検討をしていきたい。

今回若手セミナーを企画・運営した4名のコアメンバーに加え，秋季講演会を通して若手会の参加者は10名となり，ますます若手会への参加者が増えることで交流，意見交換の場が広がることを期待する。

若手会への参加は，学生，社会人問わず随時募集中であり，ご興味のある方は是非下記 YEPS 委員会のアドレスまでご連絡下さい。

MAIL : [japh_eps_member\(at\)googlegroups.com](mailto:japh_eps_member(at)googlegroups.com) (アドレスの"at"を@に変換)